

「新型コロナウイルス感染症の遺伝学的知見に基づいた COVID19 ワクチンの開発と評価系の構築」に参加された患者さんおよびそのご家族の方へ
生命科学・医学系研究に対するご参加のお願い

【研究の実施について】

東海大学医学部付属病院では、上記のご病気で入院された患者さんの情報を使い、病気の理解や治療法の向上を目的とした研究を行っています。

この研究は、東海大学医学部臨床研究審査委員会の承認を受け、法律や倫理指針に従って実施されます。患者さんの個人情報、氏名等の情報を削除し、個人が特定できないよう加工して使用いたします。なお、研究成果は、学会や論文で発表されることがあります。

【参加を希望されない場合】

本研究で使用する試料・情報については、我々の手元に届いた段階で、すでに個人を特定することができなくなっております。そのため、研究対象から除外することができませんので、ご了承ください。

【研究の概要】

対象者：西暦 2020 年 2 月 1 日～2023 年 12 月 31 日の間に多施設共同研究「新型コロナウイルス感染症の遺伝学的知見に基づいた COVID19 ワクチンの開発と評価系の構築」に参加された方

研究課題名：変異株流行下の COVID-19 における死亡リスク因子の検討

倫理審査番号：25R143

研究期間：【許可日】～2030 年 12 月 31 日

26.1.8

【本研究の目的・意義】

新型コロナウイルス変異株（例：オミクロン株）の出現によるウイルス自体の病原性は低下傾向にありますが、入院中に細菌感染症の合併により重篤な経過をたどる患者さんがおられます。この細菌感染症の合併が患者さんの予後に与える影響に関しては不明な点が多いのが現状です。

本研究では、新型コロナウイルス感染症で入院した患者さんにおける細菌感染症の合併率、臨床的特徴、入院後にどのような経過をたどったか解明することを目的としています。

これによって、重症化リスクの高い患者さんの早期特定や適切な治療方法の確立につながり、今後の新型コロナウイルス感染症に対する診療戦略の確立に貢献することが期待されます。

【使用する情報の例】

- ・ 患者基本情報：年齢、性別
- ・ 臨床情報：診断名、自覚症状、入院時期（年月）、入院期間、治療内容、検査結果
- ・ 転帰情報：入院 90 日以内の転帰（お亡くなりになったかどうか、転院、退院）

【個人情報の取り扱い】

本研究で得られた試料・情報は、氏名等の情報を削除し、個人が特定できないよう加工して、第三者には個人が特定できない形で慶応義塾大学より当院へ提供されます。供与された情報は、研究終了後5年後もしくは成果発表から3年後の何れか遅い方に破棄します。

【情報の開示について】

ご希望があれば、研究計画の資料やご自身の情報について、可能な範囲で開示いたします。ご家族と一緒に説明を受けることも可能です。ご不明な点があれば、遠慮なくお問い合わせください。

【研究資金・利益相反^{りえきそうはん}について】

この研究は学内の研究費で行われ、企業からの資金提供はありません。そのため、現時点で開示すべき利益相反はありません。

【研究組織】

研究機関名：東海大学医学部呼吸器内科

研究責任者所属・氏名：滝口 寛人

既存試料・譲歩の提供のみを行う機関リスト

機関名	担当者所属	担当者（責任者）名、	連絡先
慶応義塾大学	呼吸器内科	福永 興孝	03-3353-1211（代）

その他、本研究に関するご質問、ご相談等は、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

【お問い合わせ先】

東海大学医学部呼吸器内科

電話：0463-93-1121（代表） 内線：2210

研究責任者（代表者）：呼吸器内科科 滝口 寛人

【更新履歴】

2025年12月10日

第2版